

調光技術資料

DSP-8004A/P
(LED-DMX 制御ユニット)

(株) **S**YSTEM・**P**LANNER
システム プランナー

- 本社 〒261-0026 千葉県千葉市美浜区幕張西 1-24-1
TEL 043-273-8112 FAX 043-273-8119
- 支社 〒001-0018 北海道札幌市北区北十八条西 4 丁目
TEL 011-758-8236 FAX 011-758-3635

DSP-8004A/P(LED-DMX 制御ユニット) 技術資料

LED の多様化が叫ばれて久しい昨今、とくに制御面での簡略化が切望されております。このような状況を鑑み、DSP-8004 は開発されました。

本機は、コンパクトなサイズに4回路(1回路あたり最大出力7A)の調光回路を収めた調光ユニットと、独立した電源ユニットから構成されており、各回路ごとに異なる電圧での使用ができるなど、状況に応じた設置方法が可能となります。

[DSP-8004A(調光ユニット)仕様]

制御電源入力	DC10~60V / 0.5A (CH1電源と共用)
定格出力	最大7A×4回路
出力端子	M3.5 ビス止め
制御入力信号	DMX-512
制御入出力コネクタ	RJ-45 / 端子台(先バラケーブル)
調光範囲	0~100%
冷却方式	自然空冷 *1
使用温度範囲	-10°C~70°C
使用湿度範囲	35~85%RH(結露なきこと)
使用環境	腐食性ガスのないこと
外形寸法	W:200.0 mm D:105.0 mm H:75.0 mm *2

*1 動作中は、熱がこもらないように考慮して使用してください。

*2 突起部品を除いた寸法です。

[DSP-8004P (電源ユニット) 仕様]

定格電源	AC 85~265V / 4A (DC5V・300W) AC 85~265V / 8A (DC12V・600W) AC 85~265V / 8A (DC24V・600W)
定格周波数	50 / 60Hz
定格出力	60A / DC5V (300W) 53A / DC12V (600W) 27A / DC24V (600W) *1
出力端子	M3.5 ビス止め (4系統)
電源ケーブル	3P15A 平行プラグ VCTF1.25 mmケーブル
冷却方式	強制空冷 *2
使用温度範囲	-10°C~70°C
使用湿度範囲	35~85%RH(結露なきこと)
使用環境	腐食性ガスのないこと
外形寸法	W:120.0(170.0)mm D:250.0 mm H:90.0 mm (付属マウント金具取付時) *3

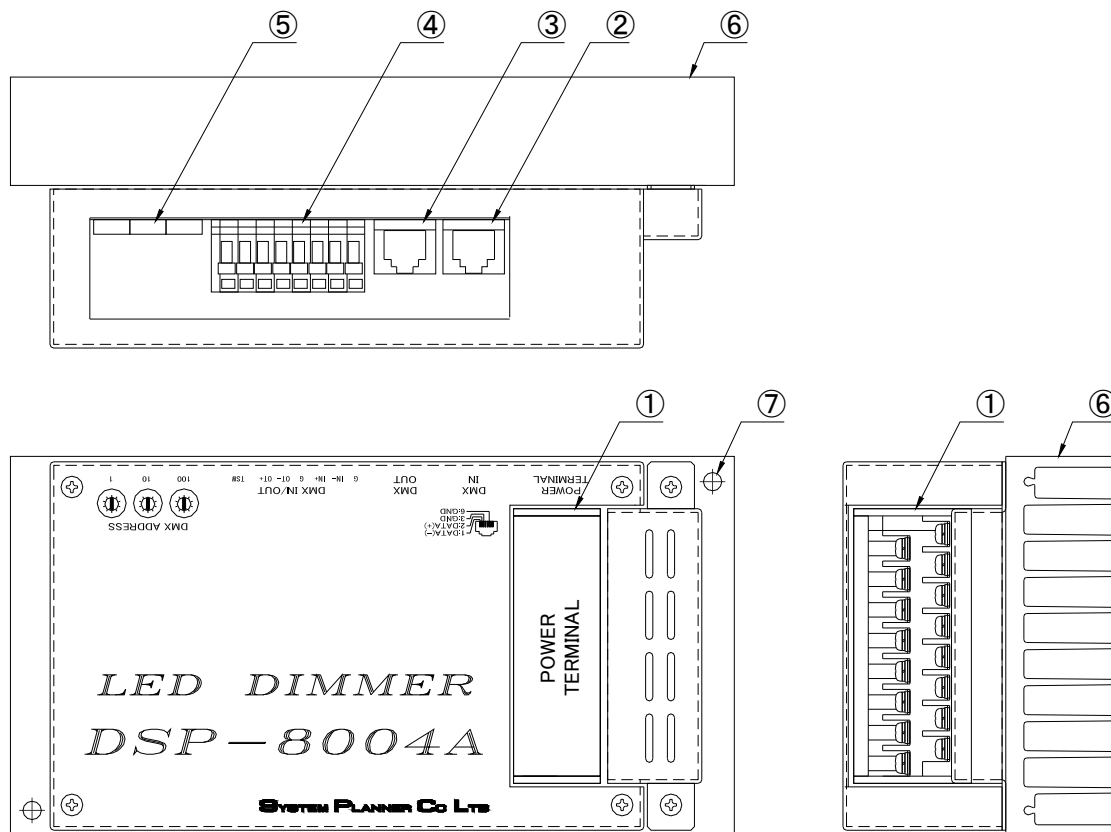
*1 表記以外の電源の場合はお問い合わせください。

*2 動作中は、冷却ファンの吸気口・排気口をふさぐことのないように設置して使用してください。

*3 突起部品を除いた寸法です。

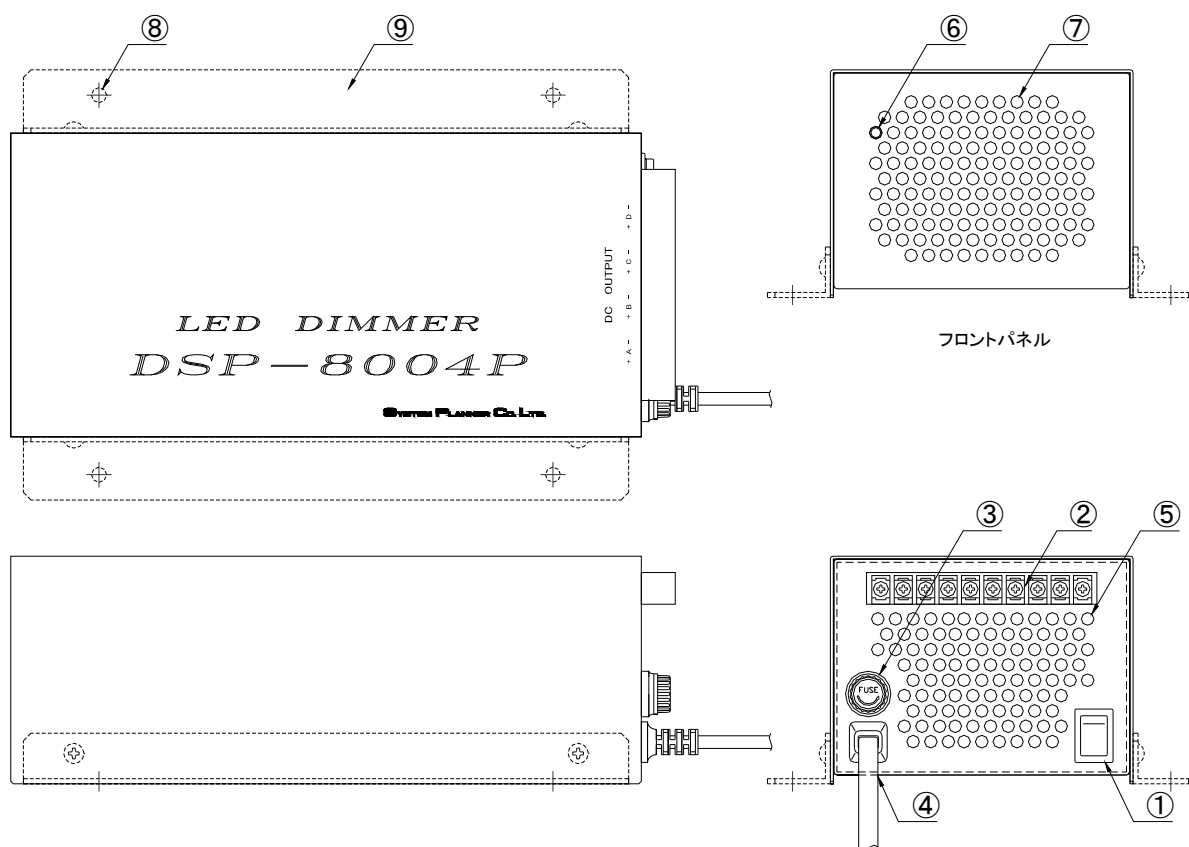
[各部の名称及び機能]

◆ DSP-8004A



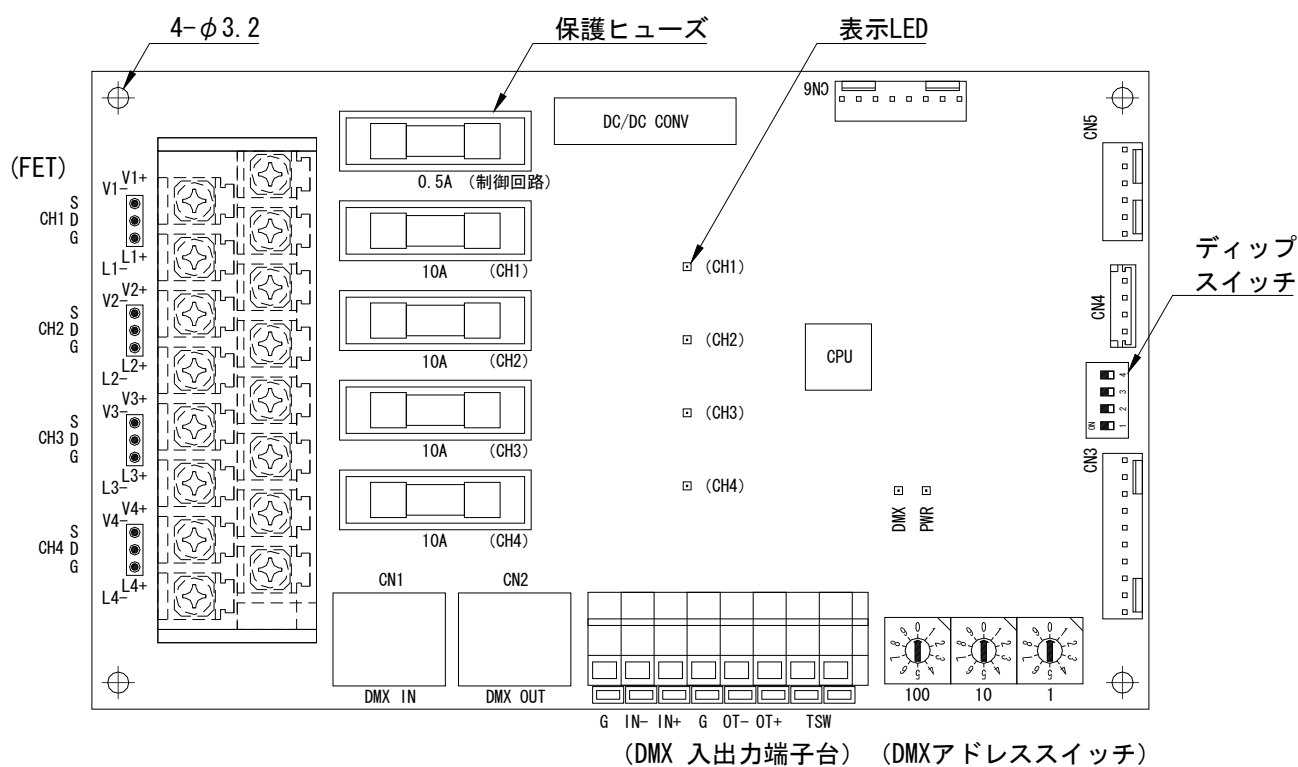
- ① 入出力端子台 → 電源／LEDのケーブルを接続する端子台です。
- ② DMX入力コネクタ → DMX信号の入力コネクタです。(RJ-45)
- ③ DMX出力コネクタ → DMX信号のスルーアウトコネクタです。(RJ-45)
- ④ DMX入出力端子台 → DMXケーブル用端子台です。(先バラケーブル使用)
また、DMX終端用の端子があります。
- ⑤ DMXアドレス設定スイッチ → 本機のDMX信号・スタートアドレスを設定するスイッチです。
- ⑥ ヒートシンク → 熱がこもらないように配慮して設置してください。
- ⑦ 取付孔 → 本機の固定用孔です。(2-φ5)

◆ DSP-8004P



- ① 電源スイッチ → 電源をON/OFFするスイッチです。
- ② 出力端子台 → DC電源の出力端子台です。(4系統)
- ③ ヒューズホルダー → 本機の電源保護用です。
- ④ 電源ケーブル → AC100Vのコンセントに接続します。
- ⑤ 吸気口 → ふさがないように配慮して設置してください。
- ⑥ 電源表示灯 → 本機の電源がONになっている時に点灯します。
- ⑦ 排気孔 → ふさがないように配慮して設置してください。
- ⑧ 取付孔 → 本機の固定用孔です。(4-φ6)
- ⑨ 固定用金具 → 本機の固定用金具です。

◆ DSP-8004 調光基板



◇ CN1・CN2 DMX-512 入出力コネクタ

No.	ピンアサイン	No.	ピンアサイン
1	DATA(-)	5	未使用
2	DATA(+)	6	GND
3	GND	7	未使用
4	未使用	8	未使用

◇ DMX-512 入出力端子台

No.	ピンアサイン	No.	ピンアサイン
1	GND 入力	5	DATA(-) 出力
2	DATA(-) 入力	6	DATA(+)
3	DATA(+)	7	終端端子
4	GND 出力	8	終端端子

* 出力(CN2を含む)を使用しない場合は、7-8を短絡してください。

◇ CN3 外部アドレススイッチコネクタ

No.	ピンアサイン	No.	ピンアサイン
1	DMX LED(A)	6	D3
2	" (K)	7	桁100
3	D0	8	桁10
4	D1	9	桁1
5	D2	10	未使用

* 外部アドレススイッチを使用する場合は、基板のアドレススイッチを全桁 0にしてください。

◇ ディップスイッチ 設定表

No.	OFF	ON
1	未使用	未使用
2	未使用	未使用
3	未使用	未使用
4	未受信時消灯	未受信時最終点灯保持

◇ 入出力端子台

No.	ピンアサイン	No.	ピンアサイン
1	電源入力(+) CH1	9	電源入力(+) CH3
2	" (-) CH1	10	" (-) CH3
3	LED出力(A) CH1	11	LED出力(A) CH3
4	" (K) CH1	12	" (K) CH3
5	電源入力(+) CH2	13	電源入力(+) CH4
6	" (-) CH2	14	" (-) CH4
7	LED出力(A) CH2	15	LED出力(A) CH4
8	" (K) CH2	16	" (K) CH4

* CN4・CN5・CN6は使用しません

[接続方法]

◆ DMX-512信号接続方法

2芯シールドケーブルを用いて、入出力コネクタにRJ-45を使用して接続するか、先バラケーブルで端子台に接続します。このとき、コネクタと端子台を両方同時に使用しないで下さい。

また、出力を使用しない場合は、端子台の終端端子間を短絡してください。

◆ アドレス設定

基板上的アドレススイッチで本機のスタートアドレスを設定します。(001～512が使用できます。) モニターLEDは、受信が正常に行われていないときに点滅し、正常に受信すると点灯になります。

本機はテストモードとして、アドレスの設定で以下の動作をすることができます。

- 900: CH1からCH4まで順次フェードイン/フェードアウト
- 901: CH1 フェードイン/フェードアウト
- 902: CH2 フェードイン/フェードアウト
- 903: CH3 フェードイン/フェードアウト
- 904: CH4 フェードイン/フェードアウト

このとき、モニターLEDは速い点滅表示になります。

◆ ディップスイッチ設定

基板上的ディップスイッチ(No. 4)で本機の動作モードを設定します。

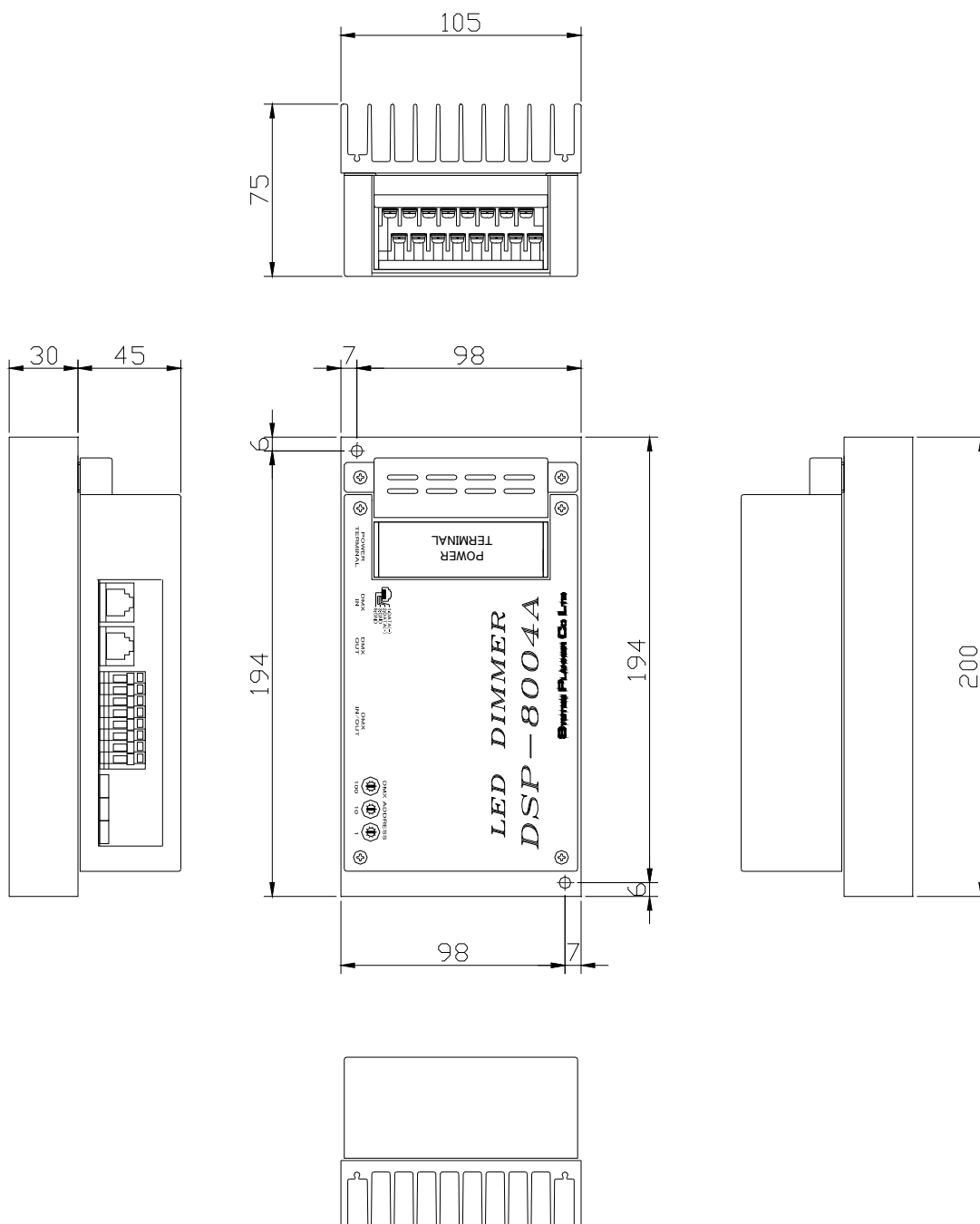
- ON : DMX信号が切れたときに、全CHとも直前の点灯レベルを保持します。
- OFF: DMX信号が切れたときに、全CHとも消灯します。(出荷時)

◆ DSP-8004A / 8004Pの使用方法

- ① **8004P** の出力端子台と **8004A** の入出力端子台の電源端子間を、電流値に適したサイズの電線で接続します。
4つのチャンネルはそれぞれ独立していますので、電源電圧が異なっても使用することができます。
(**8004A** の制御電源はCH1の電源と共有しています。CH1の電源は必ず接続してください。)
- ② 負荷LEDのケーブルを **8004A** の入出力端子台に接続します。このとき負荷側のアノード、カソードを間違えないようにしてください。
- ③ DMXケーブルを接続し、スタートアドレスを設定します。
- ④ **8004P** の電源プラグをAC100Vのコンセントに挿し、電源スイッチを入れます。
- ⑤ DMXコントロール機器で調光を行ないます。
- ⑥ 使用中は、各ユニットの放熱に注意してください。

[外觀圖]

◆ DSP-8004A



◆ DSP-8004P

